

概要

第1回

森と生きた人々 ―鳥取県の遺跡から―

講師：中原 計 氏（鳥取大学地域学部 准教授）

青谷上寺地遺跡（鳥取市）をはじめ、鳥取県内の遺跡から出土した木製品を中心に、古代の人々の木材利用や森林とのかかわりについて具体的に解説します。

（なかはら けい）1976年生まれ。2005年大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位修得退学。博士（文学）。主な著作・論文に「河内平野の弥生時代木製品生産遺跡（『木・ひと・文化～出土木器研究会論集～』出土木器研究会、2009年）」、「弥生時代における山陰地方の森林植生と木材利用」（『古代文化』第67巻第1号、古代学協会、2015年）、『鳥取県史ブックレット19 森と生きた人々―鳥取県の遺跡から―』（鳥取県、2018年）がある。



第2回

因幡・伯耆の古墳時代

講師：高田 健一 氏（鳥取大学地域学部 教授）

鳥取県域の古墳がいつ出現し、どの地域に展開し、どのように終焉を迎えたのかについて紹介し、どのような人びとが古墳に埋葬されたのかに迫ります。

（たかた けんいち）1970年生まれ。1999年大阪大学大学院文学研究科博士後期課程（史学専攻）単位取得退学。主な著作・論文に『妻木晩田遺跡』（日本の遺跡16、同成社、2006年）、『古郡家1号墳・六部山3号墳の研究』（鳥取県、2013年、共著）、『倭文6号墳出土遺物の研究』（鳥取市教育委員会、2018年、共著）、『鳥取県史ブックレット23 因幡・伯耆の古墳時代』（鳥取県、2021年）がある。



第3回

白鳳・天平文化の華 ―因幡・伯耆の古代寺院―

講師：中原 斉 氏（米子市経済部文化観光局文化振興課 専門官）

7世紀後半から8世紀に建立された県内の古代寺院の実像を、彩色壁画が見つかった上淀廃寺（米子市）や山陰唯一の特別史跡・斎尾廃寺（琴浦町）などの研究成果から探ります。

（なかはら ひとし）1959年生まれ。國學院大學文学部史学科卒業（考古学専攻）。主な著作に『鳥取県の歴史散歩』（山川出版社、2012年、共著）、『地域を活かす遺跡と博物館～遺跡博物館のいま』（同成社、2015年、共著）、『よみがえる金堂壁画 上淀廃寺』（シリーズ「遺跡を学ぶ」116、新泉社、2017年）、『鳥取県史ブックレット21 白鳳・天平文化の華―因幡・伯耆の古代寺院―』（鳥取県、2019年）、『まちあるきブックレット 米子の町家まちなみ八十八』（米子市、2022年、共著）がある。



FAX: 0857-22-3977

令和4年度「新鳥取県史を学ぶ講座」受講申込書

フリガナ			
氏名			※必須
住所	〒		※必須
電話	()	―	※必須
ファクシミリ	あり 番号 ()	―	・なし
電子メール			・なし
受講希望講座	□第1回（9月19日）：森と生きた人々―鳥取県の遺跡から― □第2回（10月2日）：因幡・伯耆の古墳時代 □第3回（11月6日）：白鳳・天平文化の華―因幡・伯耆の古代寺院―		

※ご記入いただいた個人情報は、本講座の参加申込み以外には使用いたしません。

※定員に達した場合は参加をお断りすることがあります。

※申込み後にキャンセルしたい場合は、当館までご連絡ください。

※オンライン受講は行いませんので、予めご了承ください。